

心理学検定 説明資料

「心理学検定」とは

日本心理学諸学会連合が主催し、認定する資格制度です。

心理学全体を10の科目に分け、各分野を一定の水準で習得していることで合否が決まります。

心理学の10科目について試験は行なわれます。

10科目はA領域とB領域(各5科目)の2領域に分類されています。

これら10科目の合否によって、2級、1級、特1級が与えられます。

認定される級

10科目の合否によって、2級、1級、特1級が与えられます

2級 A領域の2科目を含む、合計3科目に合格

1級 A領域の4科目を含む、合計6科目に合格

特1級 A領域の5科目、B領域の5科目、10科目すべてに合格

試験時期と方法

試験は、年2回開催されます(大体、夏休みと春休み)

試験開催期間が1か月半程度設定されており、試験開催期間内の受験希望日が選択できます。

試験会場が選択できます

全国47都道府県にある試験会場から、希望する試験会場・日時を試験日とすることができます。予約は先着順です。

CBT(Computer Based Testing) で行なわれます。

コンピューター画面に表示された試験問題に対して、マウスを用いて解答する方法です。

メリット

諸資格受験の基礎固めとして

大学院進学への優遇措置があります

本学大学院臨床心理学研究科では「専門科目」の試験点数を、心理学検定(1級、特1級のみ)で置き換えることができます。(ただし1級には「統計・測定・評価」の合格が含まれること)

北海道大学大学院文学院でも優遇措置があります

取得への支援体制

「心理学検定演習A～E」が教養科目で開講されています。

2年かけて、本学大学院臨床心理学研究科の優遇対象となる1級の取得を目指します。

A領域の4科目(「原理・研究法・歴史」「学習・認知・知覚」「発達・教育」「社会・感情・性格」と)、B領域の1科目(「統計・測定・評価」)を学びます。

23年度は前期に「心理学検定演習D」(「学習・認知・知覚」)が、後期に「心理学検定演習E」(「統計・測定・評価」)が開講されます。前者は前期火曜4講、後者は後期水曜5講です。

詳しくはこちらから

「心理学検定公式HP」があります。ご覧ください。

参考になる本を紹介しておきます。

心理学検定 基本キーワード【改訂版】



心理学検定 公式問題集 2023年版

